

交通安全事業箇所



整備事例

交通事故対策 右折車線の延伸

21号那加大東町交差点改良
(各務原市那加大東町地区)



交通事故対策 交差点コンパクト化

156号芥見大船交差点
(岐阜市芥見大船)



令和8年度の事業箇所

21号各務原地区交差点改良
(各務原市鵜沼川崎町)



暫定対策として、**通学路の歩道拡幅、防護柵**の設置が完了しました。

▼防護柵設置後、児童が登校する様子



21号八島町交差点改良
(大垣市八島町)



新技術(歩行者感知システム)の設置により、歩行者の認知を早め、急減速を抑制します。

▼歩行者感知システムのイメージ



156号大島歩道整備
(郡上市白鳥町)



令和3年度の**通学路合同点検結果に基づく対策必要箇所**(国道156号郡上市大島地区)において、防護柵の設置が完了しました。

▼防護柵設置後、児童が登校する様子

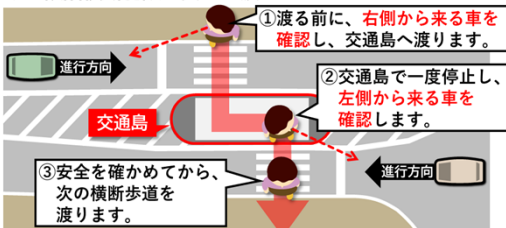


令和8年度の事業箇所

156号岩田坂歩道整備 (岐阜市岩田坂)



◆二段階横断施設の安全な渡り方



高齢者の安全・安心な通行空間確保に向けた取り組みの先行実施箇所として、岐阜市岩田坂が選定されました。

車道を2回に分けて横断させる**二段階横断施設の整備**や**歩行者感知システム等の整備**により、高齢歩行者の交通安全対策を実施します。

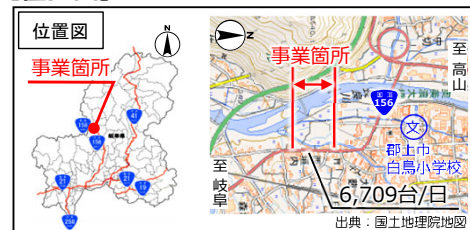
▼二段階横断施設のイメージ



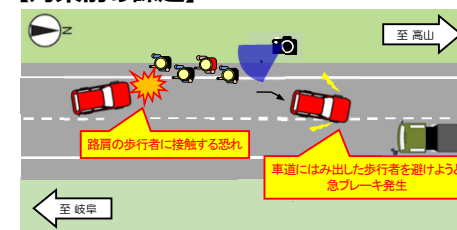
整備効果<国道156号為真歩道整備事業>

- 歩道がない通学路において、狭い路肩を児童が歩行し、車道にはみ出した歩行者を避けようと急ブレーキが発生するなど事故の危険性が高い区間が存在
- 千葉県八街市の事故を受けた対策として、令和6年2月に歩道整備を完了し、整備区間において、自動車の**急ブレーキが約5割減少**するなど、事故リスクの低減効果を確認

【位置図】

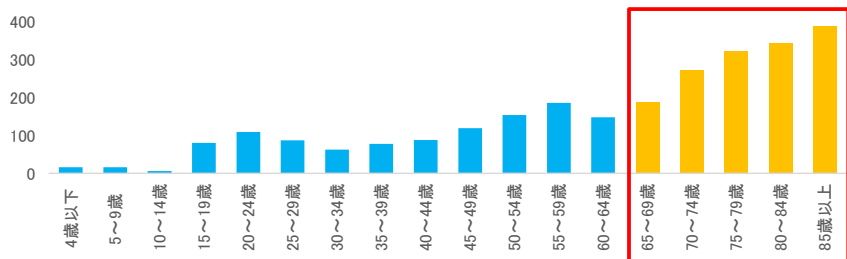


【対策前の課題】



高齢者の事故について

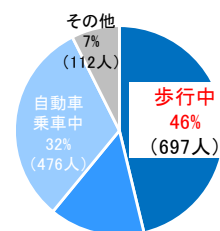
○令和6年の死亡事故の特徴として、横断歩道以外を横断中の事故が顕著



出典) 警察庁交通局「令和6年中の交通死亡事故の発生状況及び道路交通法違反取締り状況等について」

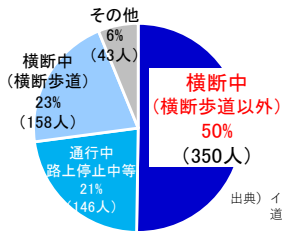
高齢者の死者数が多い

【高齢者関連の交通事故死者数の内訳(令和5年)】



(注) 第1当事者あるいは第2当事者の年齢が65歳以上に該当する事故を対象とし、当事者種別(1当と2当を比較し交通弱者側を優先)より集計した結果

【歩行中の事故類型別死者数の内訳(令和5年)】



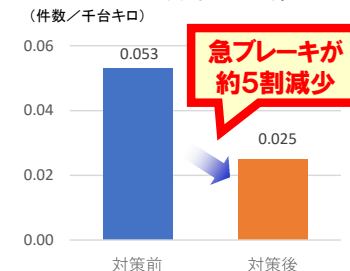
(注) 第1当事者あるいは第2当事者の年齢が65歳以上で、当事者種別が歩行者に該当する事故を対象とし、事故類型により集計した結果

出典) イタリア交通事故道路統合DB(一般道路版)より集計
令和8年1月20日 記者発表資料より

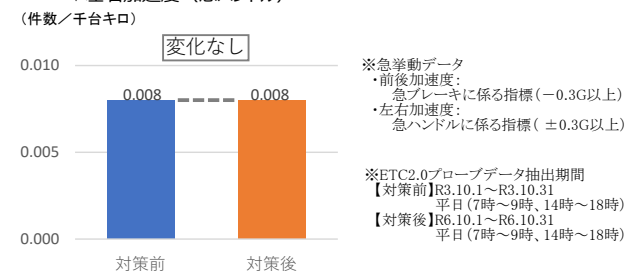
【ETC2.0データによる効果検証】

※区間全体

▼前後加速度(急ブレーキ)



▼左右加速度(急ハンドル)



対策前



対策後 令和6年2月完成

